

全国に挑んだ 夏

～宮城県白石工業高等学校ソフトボール部インターハイ出場～

金子 諄 (2年)
Jun Kaneko
(白石中・田町)

9番ピッチャー
三浦 真希斗 (3年)
Makito Miura
(古川中・大河原町)

梶川 拓也 (2年)
Takuya Kajikawa
(南中・斎川)

1番センター
半沢 卓也 (3年)
Takuya Hanzawa
(白石中・大川町)

キャプテン
4番ファースト
我妻 光平 (3年)
Kohei Agatsuma
(白石中・福岡蔵本)

白工球児の熱い夏 2年連続14回目の全国へ

7月31日から8月4日まで、「第46回全日本高等学校男子ソフトボール選手権大会」(インターハイ)が秋田県由利本荘市で開催され、白石工ソフトボール部が2年連続となる14回目の出場を果たした。

白石工は、6月4日から6日に行われた県大会で、初戦の東北に27対0と完勝。準決勝では全国屈指の好投手を擁する仙台商に4対1。決勝では、ここ15年で全国への切符を二分する古川と対戦し、7対0で打ち破り全国へと駒を進めた。

昨年の全国大会(沖縄県)では初戦を突破するも2回戦で敗退。しかし、当時のレギュラー15人が3年生となり、「今年こそはさらなる上位へ」という気持ちで練習に励んでいた。そこに襲った3月11日の大震災。練習が再開されたのは震災から1カ月後の4月11日。春の選抜大会も中止となり、他県に比べ練習不足は否めなかった。それでも、自慢のチームワークを武器に全国への切符を手に入れた。キャプテンの我妻光平(白石中出身)は、「宮城県の代表として、勇気と元気を与えられる試合をしたい」と話した。



第25回全国健康福祉祭 宮城・仙台大会 ねんりんピック宮城・仙台2012

平成24年10月13日(土)～16日(火)
伊達の地に 実れ!ねんりん いきいきと

白石市では「**囲碁交流大会**」の開催が決定!

◎白石市実行委員会事務局
(長寿課内) ☎22-1361



昨年の「第23回いしかわ大会2010」での総合開会式

今年はプレ大会

囲碁交流リハーサル大会 兼 第8回河北杯争奪仙南囲碁大会

●日時 平成23年9月25日(日) 9:30～16:30 ●場所 ホワイトキューブ

本大会前年となる今年は、「第8回河北杯争奪仙南囲碁大会」も兼ねてリハーサル大会(プレ大会)を開催します。日ごろから囲碁を楽しんでいる仙南の愛好者が集い腕を競い合うほか、一般の方にも参加いただき囲碁の楽しさに触れていただこうと、各種イベントも開催します。皆さまのご参加をお待ちしています(入場無料)。

- ①**囲碁競技**(河北杯争奪仙南囲碁大会) ※9月16日(金)まで長寿課にお申し込みください。
- ②**囲碁を楽しもう** 日本棋院からプロ棋士をお招きします。大盤を使って囲碁の初歩や楽しみ方を伝授します。初心者の方もどんどん参加しましょう。
- ③**健康づくりコーナー** 市保健師による健康相談
- ④**作品展示コーナー** 老人クラブやシルバー人材センターの会員の皆さまの力作をご覧ください。



全国健康福祉祭(愛称「ねんりんピック」)は、60歳以上の方を中心とした健康と福祉の祭典です。高齢者などの健康づくりや生きがいづくり、社会参加、世代間交流の促進など、あらゆる世代の人たちが楽しみ交流を深めることができる総合的な祭典として、「スポーツ交流」「文化交流」「美術展」「健康フェア」「シンポジウム」などのイベントが行われ、延べ50万人以上の方が参加します。厚生省創立50周年を記念した1988(昭和63)年第1回兵庫大会以降、毎年開催され、平成24年度は第25回大会が宮城の地で開催されることになりました。仙台を中心に県内各地で交流が行われ、全国から選手やその家族、関係者が訪れることから、心を込めたおもてなしをする大会となります。昨年、宮城県実行委員会を立ち上げ、白石市でも実行委員会の設立と開催に向けた準備を進めてきましたが、震災により開催が再検討されていました。その結果、元気に復興している姿を見てもう一回、全国の皆さまからいただいた厚い声援と支援への「感謝」と「元気な宮城」をアピールすることで、復興に向けた「県民の元気」と「地元経済の活性化」を促すことができるとし、開催することを決定しました。これまで決定されていた開催市町と競技は、震災によりやむを得ず開催を断念せざるを得ない市町もありますが、宮城県全体でひとつとなって開催に向け取り組んでいます。